

## 課題に対する取組の方向性について議論しました！



第1回のワークショップの結果から課題を3つに整理しました<①空き家、空き店舗、空き地等の場所の活用、②賑わい（交流拠点、地産地消など）の創出、③担い手の過不足、活動への巻き込み>。それらの課題に対して必要な取組について、様々な意見が出されました。

### 先進事例ミニセミナーの開催

#### NPO 法人小田原まちづくり応援団 理事長 平井丈夫 様よりお話を伺いました！

小田原における邸園文化を活用したまちづくりや文化観光の実践、活動拠点（清閑亭）、中間支援組織（まちづくり応援団）の成り立ち等についてお話を伺いました。



ご講演いただいた平井様

#### 事 例

- まち歩き調査（まちづくりの資源の分類整理）
- 「まちえんカフェ」の開設（情報交換会）
- 小田原邸園交流館「清閑亭」の活動
- 小田原まち歩き（まち歩きガイドツアー）
- 小田原デザインストリート アートクラフトデザイナーズコンペ など

小田原と加西のつながりについて、「縁が深い」との意見もワークショップメンバーより出ていました！

### 北条旧市街地ビジョン（骨子案）の提案

#### 加西市より“北条旧市街地におけるまちづくりのビジョン”の骨子案を提案しました！

町屋等の資源を生かした“暮らす”環境の整備とまちなかに賑わいを生む場所の創出

**将来像**

**良好な住環境と町屋を活用した賑わいの実現**



人口減少・高齢化・暮らしの機能の低下への対策として、  
北条旧市街地の資源を生かした“暮らし”の場としての移住・定住の促進を目指す

**目 標**

**移住・定住の促進 ～北条旧市街地及び周辺へのまちなか居住の増加～**



**基本方針**

担い手を育てる  
～人づくり～

暮らしを育てる  
～空間づくり～

北条ブランドを育てる  
～まちづくり～

■実施日

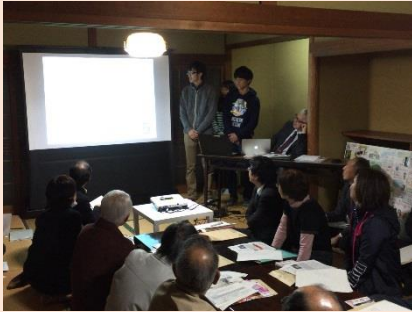
11月7日

■場所

旧洋品たなか  
(立花邸)

## 第2回ワークショップでの意見

### 当日の様子



今回の北条の町並み魅力発掘調査に協力いただいている明石工業高等専門学校の学生様が、町並みを歩いた感想についてスライドにまとめてくださいました。



平井様より、小田原におけるまちづくりの事例についてお話を伺いました。



第1回で出た課題を3つに整理し、それらに対する取組について意見交換を行いました。

#### ①空き家、空き店舗、空き地等の場所の活用

##### ◆活動・取組を広げていくための拠点

- ・地域の方や活動されている方の顔が見える場所が必要
- ・古着屋等をやりたいなどのニーズをキャッチする場所がない。うまくコーディネートできる人がいれば
- ・情報を北条に集約して、地域の情報や生業、商品を見られるような形にできないか

##### ◆交流、宿泊系の施設

- ・シェアハウスがやりたい。北条は交通のアクセスもよいので、そういう場所があるとよい
- ・ゲストハウスのような海外から来た人たちが、出てこられる場所があれば

##### ◆空間活用の工夫

- ・最初に軒下から借りる、1日だけ借りるといった時間・スペースを区切った工夫にチャレンジするとよい
- ・(家を借りるにあたっては)信頼関係、コミュニケーションが大切かなと思う

#### ②賑わい(交流拠点、地産地消など)の創出

##### ◆(拠点に必要な機能)誰でも集まれる場所

- ・何かしたいと思った若者が相談できる場所や、ここに行けばみんながいてわかっている場所があれば、きっかけの場所になると思う

##### ◆まちを知る、語らう

- ・ひな祭のお雛様の展示や五月人形、小学生のお店訪問など、引き続きやっていきたい
- ・まちに興味を持つということが大切

#### ③担い手の不足、活動への巻き込み

##### ◆お金を集める工夫

- ・住民も努力するし、再投資する、活動費に回せるといしくみが大切
- ・外からお金を集める方法(クラウドファンディング)

##### ◆外からの力・アイデアの活用

- ・活動アイデアを募集して応援するという形もある
- ・若い建築家の人に提案してもらう、商売したいという人に声をかけてもらうなど